

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6 年 6 月 28 日

尼崎市長 殿



提出者

住所 尼崎市田能5丁目11番1号

氏名 阪神水道企業団 技術部 浄水管理事務所
所長 中安 眞司

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6491-1271

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	阪神水道企業団 技術部 浄水管理事務所 尼崎浄水場
事業場の所在地	尼崎市南塚口町4丁目5番65号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	3611 上水道業
②事業の規模	10,0860,000m3
③従業員数	82 名 （令和6年4月1日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	排出量	23,059 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	排出量	24,441 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	無し		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	無し
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	無し

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	20,040 t	t
	(これまでに実施した取組)		
無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	21,241 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
無し			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	全処理委託量	3,019 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3,019 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の全量再生利用を行った。		

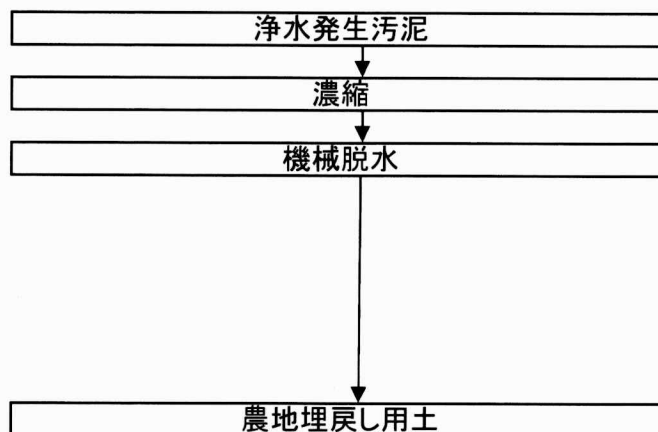
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	全処理委託量	3,200 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3,200 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	引き続き、廃棄物の全量再生利用を行う。		
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書

別紙

当該浄水場において現に行っている事業に関する事項

○産業廃棄物の一連の処理工程



- ・ 農地埋戻し土
収集運搬＜大栄工業＞
→ 農地埋戻し用土として処分業務委託

産業廃棄物の処理に関する管理体制に関する事項

(管理体制図)

